

事業名	第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略	
事業の概要	<p>本事業は、「第2期鉢田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び総合戦略」に基づき、少子高齢化や東京圏への一極集中等により、人口減少が進んでいる現状を克服するため、地方創生の取り組みとして、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を目指した総合戦略を策定し、4つの戦略目標に基づいた関連する事業を展開しています。</p> <p>【戦略目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①しごとの創生…農業を中心に産業の活性化を図り、安定した雇用を創出する ②ひとの創生（社会動態）…ひとの地域内への還流と新たなひとの流れを創造する ③ひとの創生（自然動態）…若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる ④まちの創生…自然溢れる環境で、健康・安心・便利な暮らしを実現する <p>これら4つの戦略目標を実現するため、本市の現状と課題を踏まえ、基本目標と基本施策を設定し、個別戦略を定め、農業のブランド力の向上や地方移住の促進、子育て世帯が住みやすい環境づくり等、さまざまな事業を展開しています。</p>	
第2期鉢田市まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況についての意見		
意見		意見内容
意見有	7	<ul style="list-style-type: none"> ・C、D評価の項目について、原因分析や今後の取組等を記載すれば、より分かりやすくなると思います。 ・KPIの進捗状況の評価（総括）に人口減少対策は抑制戦略だけではなく適応戦略を重視しながら、人口が減っても持続的な地域をつくっていくことが重要と示されています。戦略を練る時、市民の意見を取り入れることが大切だと思う。広く会議をおこしましょう。 ・鉢田市産の農産物を旬な時期に、人がたくさん集まる場所で販売し、さらなる認知度と売上の向上を図っていただきたい。 ・とっぷさんてや鹿島灘海浜公園など「海が見える」魅力を、観光客誘致に生かしてほしい。そのためにも、現状の状態で満足するのではなく、経営の見直しや労働環境の改善も含め、総体的な見直しを検討してもらいたい。 ・イベント開催により、市内外から多くの来場者が見えたと思っています。今後も開催していくことで、来場者の分析を通じて、来場動機や新規顧客を呼び込むための方策を考え、次のイベントに生かしていただきたい。 ・「農業と観光」といえば、必然的に「おいしい食べ物」を鉢田市にすることで実際に食べられるよいかもしれない。 ・（普段から）レシピも大事だが、実食することで、さらに販売が伸びると思われる。 ・会議の中でお話があったように「野菜ラーメンは美味しい」が印象的だった。 ・人手不足については我々企業も同様で、スマート化（機械自動化）や作業負荷軽減、出勤体制の見直しなど働きやすい職場環境作りや地道なPR活動を行うことで、人員確保に取り組んでいます。農業でもコスト面や高齢化の問題はあると思いますが、小規模導入できる事と働きやすい労働環境を目的として、まずはスマート農業のモデルケースを1つ作って、検討開始してみてはと思いました。鉢田市はメロンやさつまいもの産出額が日本一、トマトといちごも産出額が1位など農業が基幹産業で大きな強みと魅力ある市ですので、人口減少の問題はありますが、農業が今以上に発展するような戦略活動に期待していますし、応援しています。 ・もし、時代に合った方向転換なら、コロナ禍で実施していた「お一人様」をやつてほしいです。若い世代は結婚に興味がない、魅力を感じていないように思う。それなら、女性が一人でも楽しめる、生活できる、支援があるなど、そんな施策を考えてほしいです。女性の関係人口が増えれば、少しづつではあるけれども、人口増加につながると思う。自分も他人と関わることは得意ではないので、旅行や体験などを一人で気兼ねなくできれば、鉢田市の魅力を実感できたり、住んでみたいと思うきっかけになると思う。 ・若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえるのところですが、国や自治体が行う支援は、結婚や子育てを前提にしたものでどこも似たりよったりとの印象があります。もちろん必要な施策ではあるけれど、結局は隣接する自治体同士の子育て世帯の取り合いになっているだけで、根本的な解決になっていないように思います。 ・単身女性へのサポートや女性や若者が働きやすく暮らしやすい地域づくり、1人ひとりが多様な幸せを実現できるやさしいまちかどうか、再度確認してください。
意見無	5	